

2. 企画展

北海道立近代美術館コレクション ゆるり日本画 絵の中の旅

会 期 2016(平成28)年7月9日(土)~8月21日(日)

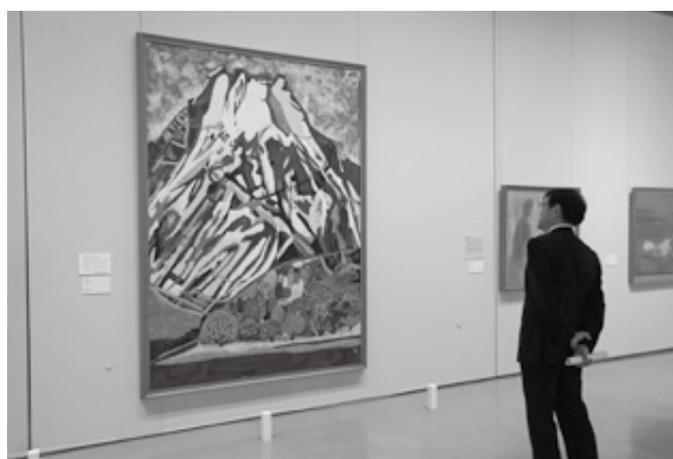
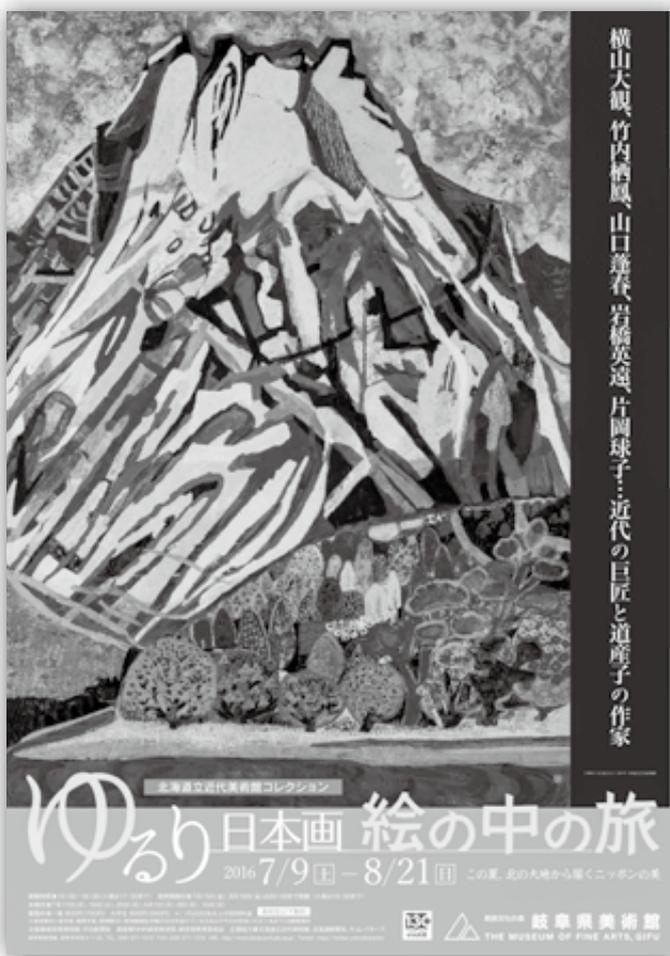
主 催 岐阜県美術館、中日新聞社

後 援 岐阜県教育委員会、NHK岐阜放送局

企画協力 北海道立近代美術館、北海道新聞社、キュレーターズ

出品点数 78点

※ほかに岐阜県美術館所蔵品の川合玉堂《養老図・鶴飼図》、加藤栄三《朝顔》を特別出品



本展は、北海道立近代美術館の所蔵する日本画コレクションから、近代日本画の流れをたどる名品と、北海道出身、いわゆる「道産子」の作家や北海道にゆかりのある作家の作品、あわせて約80点を厳選して紹介するものであった。数年かけて全国巡回してきた展覧会の最終会場となった本展では、図録掲載の全作品を初めて一堂に展示して、迫力と見ごたえのある会場となった。

近代の日本画では、横山大観、下村観山、竹内栖鳳、松岡映丘ら、官展や院展を代表する作家の佳作が集い、岐阜県の日本画ファンに十分アピールするラインナップであった。

道産子の日本画家は、本間莞彩のような岐阜県美術館で初めて

紹介される作家から、山口蓬春、岩橋英遠、片岡球子といった現代日本画の大家まで実に幅広く、新鮮であった。北海道を題材としたものは雄大な自然を描いた作品が多く、鑑賞者も圧倒されていた。

また本展では、巡回展他会場での「日本画逍遥」というコンセプトを、「絵の中の旅」と置き換え、画家たちの表現した世界を気ままに旅するような、ゆったりとした鑑賞に来館者をいざなった。鑑賞会を「旅ガイド」と名付けて、ツアーコンダクターが旅行者を誘導するように作品の世界へと案内し、日本画に馴染みのない鑑賞者にも親しみをもってもらえるよう試みた。

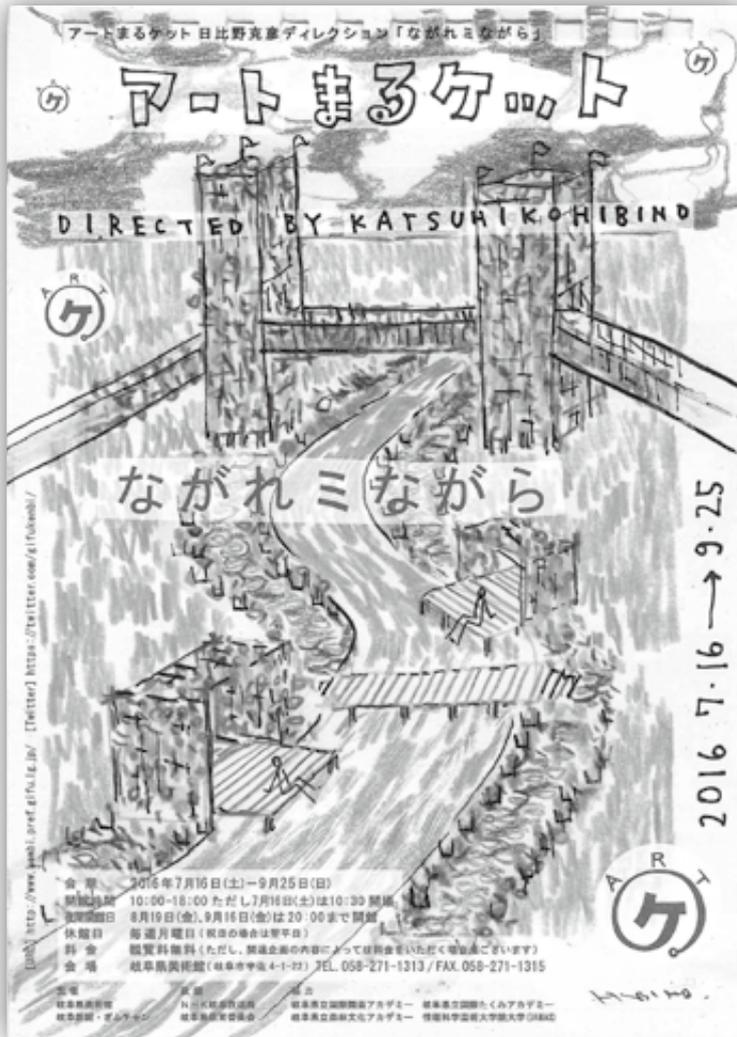
北海道立近代美術館コレクション ゆるり日本画 絵の中の旅 出品リスト

No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	素材・技法	形状	寸法(cm)
1	橋本 雅邦	(1835-1908)	十牛図		紙本墨画	掛軸	128.7×56.1
2	竹内 栖鳳	(1864-1942)	家兔	1939	絹本彩色	掛軸	61.5×72.5
3	横山 大観	(1868-1958)	陶晴節 幽篁弹琴	1919	絹本彩色	掛軸(双幅のうち)	154.2×70.5
4	下村 観山	(1873-1930)	陶晴節 見南山図	1919	絹本彩色	掛軸(双幅のうち)	154.2×70.5
5	小茂田 青樹	(1891-1933)	月あかり(「野趣四題」のうち「夏沢清夜」)	1913	絹本彩色	掛軸	54.1×71.6
6	大智 勝観	(1882-1958)	杭州天平山秋色		絹本彩色	掛軸	144.0×50.5
7	松林 桂月	(1876-1963)	新緑	1962	絹本彩色	掛軸	66.2×83.7
8	結城 素明	(1875-1957)	梅溪	1936	絹本彩色	額	150.0×110.0
9			雲山清趣	1950	絹本彩色	掛軸	58.5×71.5
10	吉川 霊華	(1875-1929)	太上老君	1917	紙本墨画	掛軸	166.6×75.8
11	松岡 映丘	(1881-1938)	村雨	1919	絹本彩色	掛軸	137.3×50.3
12			花のあした	1933	絹本彩色	掛軸	93.0×135.0
13-1			十二ヶ月連幅 正月(白馬節会)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-2	高木 保之助	(1891-1941)	十二ヶ月連幅 二月(紅白梅)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-3	吉村 忠夫	(1898-1952)	十二ヶ月連幅 三月(雛祭)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-4	狩野 光雅	(1897-1953)	十二ヶ月連幅 四月(山桜)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-5	服部 有恒	(1890-1957)	十二ヶ月連幅 五月(武者)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-6	山口 蓬春	(1893-1971)	十二ヶ月連幅 六月(五位鷺)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-7	小村 雪岱	(1887-1940)	十二ヶ月連幅 七月(七夕)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-8	遠藤 教三	(1897-1970)	十二ヶ月連幅 八月(朝顔)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-9	岩田 正巳	(1893-1988)	十二ヶ月連幅 九月(菊慈童)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-10	長谷川 路可	(1897-1967)	十二ヶ月連幅 十月(秋山帰家)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-11	吉田 秋光	(1887-1946)	十二ヶ月連幅 十一月(山茶花に小禽)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
13-12	穴山 勝堂	(1890-1971)	十二ヶ月連幅 十二月(松に雪)	1935頃	絹本彩色	掛軸(十二幅対のうち)	133.5×46.0
14-1	堂本 印象	(1891-1975)	四季図 霞山春光		絹本彩色	掛軸(四幅対のうち)	127.0×28.2
14-2			四季図 江畔晴色		絹本彩色	掛軸(四幅対のうち)	127.0×28.2
14-3			四季図 金風天心		絹本彩色	掛軸(四幅対のうち)	127.0×28.2
14-4			四季図 爽景白映		絹本彩色	掛軸(四幅対のうち)	127.0×28.2
15	筆谷 等観	(1875-1950)	春寒陽浴	1924	絹本彩色	掛軸	118.3×87.0
16			夜遊之図	1924頃	絹本彩色	掛軸	143.5×71.5
17	北上 聖牛	(1891-1969)	はなれ国の初夏	1916	絹本彩色	屏風(六曲一隻)	170.0×375.0
18			晴間	1928	絹本彩色	屏風(二曲一隻)	180.3×183.0
19	久本 春雄	(1896-1968)	編物する女	1922	絹本彩色	額	146.0×73.6
20			鹿	1935	紙本彩色	額	223.5×207.3
21	本間 莞彩	(1894-1959)	幌都の冬	1949	紙本彩色	額	85.3×115.2
22			夕陽の北海	1957	紙本彩色	額	182.5×156.4
23			出稼ぎの娘たち	1958	紙本彩色	額	218.5×172.8
24	山口 蓬春	(1893-1971)	浄境閑寂	1926	絹本彩色	掛軸	113.6×56.6
25			春野	1935	紙本彩色	掛軸	55.0×85.3
26			向日葵	1955	紙本彩色	額	82.3×60.0
27			冬菜	1955	紙本彩色	額	48.0×63.0
28			籠中春花	1956	紙本彩色	額	60.5×83.1
29			紫陽花	1957	紙本彩色	額	58.6×72.5
30	森田 沙伊	(1898-1993)	さだ子座像	1924	絹本彩色	額	64.5×63.5
31			洛北少女	1937	紙本彩色	屏風(二曲一隻)	165.2×226.9
32			宵	1951	紙本彩色	額	193.6×157.5
33			仔馬	1960	紙本彩色	額	188.0×149.8

No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	素材・技法	形状	寸法(cm)
34	森田 沙伊	(1898-1993)	鏡	1965	紙本彩色	額	181.0×150.3
35			暮情	1975	紙本彩色	額	177.7×167.0
36			納屋余情	1977	紙本彩色	額	178.0×169.0
37	岩橋 英遠	(1903-1999)	駅(青梅口)	1937	紙本彩色	額	138.0×196.0
38			都無ち	1940頃	紙本彩色	額	88.7×88.5
39			猫	1948	絹本彩色	掛軸	62.9×71.3
40			石	1952	紙本彩色	屏風(二曲一隻)	163.0×159.0
41-1			風雪の名瀑(風)	1968	紙本彩色	額(二点一組のうち)	181.5×105.8
41-2			風雪の名瀑(雪)	1968	紙本彩色	額(二点一組のうち)	181.5×105.8
42-1			虹輪(南溟を翔る)	1969	紙本彩色	額(三点一組のうち)	181.5×105.8
42-2			虹輪(来迎)	1969	紙本彩色	額(三点一組のうち)	182.0×105.0
42-3			虹輪(極園を飛ぶ)	1969	紙本彩色	額(三点一組のうち)	182.0×105.8
43			憂北の人	1970-79	紙本彩色	屏風(四曲一隻)	180.5×368.0
44-1			誌(一)	1982	紙本彩色	額(二点一組のうち)	182.0×121.0
44-2			誌(二)	1982	紙本彩色	額(二点一組のうち)	182.0×121.0
45	片岡 球子	(1905-2008)	葛飾北斎	1976	紙本彩色	額	116.0×79.0
46			学ぶ子等	1933	紙本彩色	額	137.0×137.0
47			炬燵	1935	紙本彩色	額	120.0×124.0
48			レースを編む少女		紙本彩色	額	147.0×192.4
49			若い女性		紙本彩色	額	147.7×194.5
50			校医夫婦		紙本彩色	額	178.0×178.2
51			八風不動	1943	紙本彩色	額	121.7×93.9
52			初夏	1956	紙本彩色	額	174.2×217.5
53			桜島の夜	1962	麻布彩色	額	188.0×262.0
54			阿波風景	1963	麻布彩色	額	187.0×251.0
55			面構 浮世絵師歌川国芳と浮世絵研究家鈴木重三先生	1988	紙本彩色	額	181.0×350.0
56			伊豆風景	1964	麻布彩色	額	260.0×161.0
57			羊蹄山の秋色	1986	紙本彩色	額	71.5×90.0
58			山(富士山)	1964	麻布彩色	額	259.0×182.0
59			富士	1975	紙本彩色	額	115.0×78.5
60			還城楽	1967	麻布彩色	額	162.0×130.0
61			舞楽・二の舞(老夫婦)	1969	麻布彩色	額	162.0×97.0
62			雅楽(女神と胡飲酒)	1967	紙本彩色	屏風(四曲一隻)	188.0×266.0
63			八仙	1967	麻布彩色	額	130.0×162.0
64			裸婦	1991	紙本彩色	額	63.5×89.6
65	菊川 多賀	(1910-1991)	回想賦(大正五年頃)	1984	紙本彩色	額	63.5×48.6
66			群像	1956	紙本彩色	額	165.5×163.0
67			森	1962	紙本彩色	額	173.7×245.5
68			婦囚	1974	紙本彩色	額	176.0×242.0
69			小宰相	1976	紙本彩色	額	180.3×240.0
70			ひとつの記録	1977	紙本彩色	額	180.5×281.0
71			遙	1982	紙本彩色	額	180.7×187.0
72			訶梨帝母	1986	紙本彩色	額	63.1×48.1
73	福井 爽人	(1937-)	多宝仏	1983	紙本彩色	額	103.0×103.0
74			海の賦	1977	紙本彩色	額	103.0×103.0
75			北の岬	1993	紙本彩色	額	71.7×89.9
76			杜	2000	紙本彩色	額	180.0×228.0
77	羽生 輝	(1941-)	北の岬(知床)	1989	板、紙本彩色	額	181.7×227.5
78	後藤 純男	(1930-2016)	冬の層雲峡	2002	紙本彩色	額	128.8×192.0

アートまるケット 日比野克彦ディレクション「ながれミながら」

会 期 2016(平成28)年7月16日(土)～9月25日(日)
 主 催 岐阜県美術館、岐阜新聞・ぎふチャン
 後 援 NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会
 協 力 岐阜県立国際園芸アカデミー、岐阜県立国際たくみアカデミー、
 岐阜県立森林文化アカデミー、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)



昨年、日比野克彦が館長に就任して始まった「アートまるケット」。「アートまるケット」の「まるけ」は、岐阜の言葉で「まみれ」することを意味し、それと市場を意味する「マルシェ」、「マーケット」にかけ、屋外に人が集い、物や価値の交換できる交流の場を創出しようという思いがこめられている。

2回目となる今回は「ながれミながら」と題して、庭園に流れる川を中心に展開した。美術館庭園や館内において、ワークショップや展示などの様々なイベントを行った。会期中のイベント開催に

あたり、岐阜県立国際園芸アカデミー、岐阜県立国際たくみアカデミー、岐阜県立森林文化アカデミー、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)4校の教員、学生、出身者の協力のもと、岐阜県美術館を中心に、県内各施設と連携をとりながら遂行することも、このプロジェクトの特徴である。

最終日には「収穫祭」を開催。会期中に庭園で練習や撮影を行ってきた各団体が、それぞれの作品を発表した。



7月17日 流れ作り乍ら



7月20日 流れ作り乍ら(川底みがき)



7月23日 流れ作り乍ら



7月23日 流れ作り乍ら(花づくり)



7月31日 ぎふの木でつくって浮かべてあそぼう



8月21日 収穫祭準備風景(自主映画)



9月25日 収穫祭

アートまるケット 日比野克彦ディレクション「ながれみながら」

開催日	タイトル	担当組織
5月15日(日)	イベント「まきまきタネまき」	園芸
6月18日(土)	イベント「小さな花のおひっこし」	園芸
7月16日(土)	オープニングイベント「まきまきヒマワリ」	園芸
7月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝)、20日(水)・23日(土)、 9月19日(月・祝)・25日(日)	日比野克彦ワークショップ「流れ作り乍ら」	
7月16日(土)～9月25日(日)	スタンブラリー「川のおしり」	IAMAS
7月17日(日)	デモンストレーションとワークショップ「水車を組み立て、回してみよう。」	たくみ
7月31日(日)	ワークショップ「ぎふの木でつくって浮かべてあそぼう」	森林
8月6日(土)	ワークショップ「ふわふわコットン」(会場:ぎふ清流文化プラザ)	
8月20日(土)・21日(日)	ワークショップ 「水辺の街「ケン美カラー・HUIS(おうち)」で1日アムステルダム」	森林
8月27日(土)	ワークショップ「地球は丸い、苔も丸い」	園芸
9月10日(土)	ワークショップ「はしハシ、かけカケ」	IAMAS
9月18日(日)	企画展「フランスの風景 樹をめぐる物語」関連イベント 樹×アートまるケット「このきなんのき？」	
9月25日(日)	収穫祭	

担当組織名の表記は、岐阜県立国際園芸アカデミーを「園芸」、岐阜県立国際たくみアカデミーを「たくみ」、岐阜県立森林文化アカデミーを「森林」、情報科学芸術大学院大学を「IAMAS」とし、岐阜県美術館の場合は記載しない。